

令和6年2月29日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す げん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

まもなく卒業！6年生がお別れ登山（2月27日：火）於：漏斗岳

五代公民館で出発式をするまでは曇っていましたが、山中の樹々を抜けて、約1時間後に頂上に辿り着いたら真っ青な空が目の前に広がりました。晴れ男・晴れ女の子ども達のおかげで最高の登山日和になりました。

6年生たちには3月15日に卒業式が迫っています。その前に、思い出の一つに加えることができたでしょうか？

6年生のお別れ登山が少しでも安全で、そして記憶に残るものであってほしいことを願って、コミュニティから毎年、記念の寄せ書き用の赤い布（約1.5m×1m）、手のひらがゴム製の手袋、飲み物とお菓子を少々用意しています。前日までの雨模様で斜面が滑りやすくなっ



ていました。その滑りやすさを追い風にして、主人公が誕生しました。男性に似合わぬハイトーンで「ウワーッ！」「ギャー」というような声が聞こえてきます。頂上に着くと、泥だらけになった宗佑君がいました。あなたのおかげで、今年の登山はみんなが楽しく笑顔で過ごすことができました。ありがとうね！

この登山で彼らに一番望むことは、頂上から見た景色を目に焼き付けてほしいことです。塩田川を真ん中にして、緑に恵まれ平和な家々が広がっている、その光景を忘れないでほしいと思います。これから、中

学生や高校生になっても仲間と一緒に、変わりゆく大草野の姿を見届けるために何度も登ってほしいと思います。一度に36人も登山者が来て漏斗岳もびっくりしていることでしょう。「宗佑君！来年も誘うから一緒に行こう？」と言ったら、眉をひそめて大きく首を横に振っていたけど、気が変わったら歓迎しますよ！



「第3回コミュニティ囲碁大会」(2月18日:日)

2月と思えない暖かな日の静かでホットなバトルでした!

と、見出しを書いたものの、盤上の石の並びを見てもどちらが勝っているのかさえも私は分かりません。



少しでも囲碁を愛する人達の集いの場となり、頭を使うことで「脳の健康」に貢献できればということで始まった囲碁クラブの活動が、3回目の大会を迎えました。今回は、残念ながら老人会などとの日程が重なり参加者が6名と少なくなりましたが、大会を開催することが出来ました。

抽選で対戦相手を決めて3試合を行う方法で行われ、3戦全勝の田中均さんが見事優勝されました。2位は笠原邦雄さん、3位は井上晃太郎さんでした。毎週火曜日の午後に囲碁クラブが行われていますが、多いときは6人ほど来られ

ていましたが、現在は3~4人と、参加人数が減少気味です。クラブに来られている皆さんは、参加者の増に向けて妙案はないものかときどき話し合いをされていますが、色々なさしつかえがあつて

思うようにいかないようです。

嬉野市に合併して間もなく、塩田公民館で子どもの囲碁教室が始まり、着実に成果を上げてられました。今では全国大会の「ジュニア本因坊戦」で優勝するような中学生もおられ、これからが楽しみです。しかし、大草野コミュニティに囲碁に来ていただく方はまだ少ないようです。

腕に覚えのある方、ぜひご参加ください、



事実上の優勝戦!? 緊迫しています。といっても私には分かりませんか?



お世話をしながらの見事な優勝でした!

囲碁クラブ開催日:毎週火曜日 13:30~16:15

サプライズ参加も歓迎いたします。お気軽にどうぞ!

〓 編集後記 〓

* 新聞投稿の雑感 *

2月23日の佐賀新聞、大中氏の私の主張を読んで、感じたことを少し書きます。

全体的なところは共感していませんし賛意を表します。

最後の方に、主権者はどう変わり、どう行動すればその責任を果たせるか、の第四で「何より選挙を通じて腐敗した権力者を再選させないことが重要である」と書いてあり、さらに「有権者の一票が権力の腐敗を暴走を止める最大の武器であり、棄権は許されない。」と続いている。確かに、その通りで間違っていない。でも私は、「教科書的な言葉」だと感じた。

要するに「選挙の時は必ず投票所に足を運び、信頼できる人に票を投じなさい。」と書かれているのだから、立候補している顔ぶれを見て、そう思う候補者がいない場合はどうするのか? 私は、選挙のたびにそういう思いに駆られる。投票所には行ったがどうしても書きたい名前がないときは白紙投票なのか?

候補者の質の低下を防ぐために候補者の試験を導入してはどうか? という投稿も以前あったが、それでは年齢さえ到達すれば誰でも立候補できるという民主主義の理念は達成できないだろう。民主主義を維持するのは難しい。